

令和 8 年度 第 5 回津有区地域協議会 次第

日時：令和 8 年 9 月 15 日（火）午後 6 時 30 分～

会場：津有地区公民館 大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 自主的な審議

地域での新しいコミュニケーションの在り方について

4 その他

(1) 次回開催日程について

- ・ 日時：
- ・ 会場：

(2) その他

5 閉会

〔資料・配布物〕

- ・ 次第
- ・ 資料No.1-1 津有区地域協議会における審議結果について（報告）
- ・ 資料No.1-2 津有区地域協議会 自主的な審議結果

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

- その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）
- その 2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）
- その 3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）
- その 4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）
- その 5 個人の意見は平等に扱いましょう（一人の強い意見に偏らない）

(案)

令和8年度第5回津有区地域協議会
令和8年9月15日
3議題(1)自主的な審議
資料No.1-1

令和8年10月1日

津有地区地域づくり協議会
会長 松矢 道夫 様

津有区地域協議会 会長 中島 功

津有区地域協議会における審議結果について（報告）

平素から、地域協議会の活動に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

津有区地域協議会では、地域の現状を「地域のコミュニケーションに距離感があること」や「地域活動への関心が低い」と捉えています。その要因である「地域の情報が届きにくいこと」「回覧板以外の情報発信・収集手段がないこと」を解消するため、10～20年後を見据えた新たなコミュニケーションのあり方を課題として自主的審議のテーマに設定し、審議を重ねてまいりました。

また、この間、町内会長の皆様にご協力いただいたアンケートからは、地域の担い手不足や行事参加者の減少を懸念される現状を把握いたしました。この結果は、地域協議会が設定した課題の方向性と重なるものがあると考えたところであります。

これらを踏まえた具体的な解決策として、地域協議会では①SNSの利用、②地域共通のお知らせ目印、③家庭内回覧スタンプの押印、④ごみ集積所を掲示板として活用、の4項目を協議・検討いたしました。また、これらの取組を実現するためには、津有地区全体の活性化に取り組んでおられる貴会での取組が不可欠であるとの結論に至ったところであります。

中でも、「①SNS（地域公式LINE）の利用」については、貴会に是非とも取り組んでいただきたいものとして考えております。公式LINEの導入においては、市の地域にぎわい事業補助金を活用することで経費面での自己負担は発生しない見込みです。一方で、従来の回覧板等に加えてデジタル発信を行うなど、「作業面での手間」が増えるという懸念は残ります。しかしながら地域協議会では、それ以上の周知効果と将来の地域活性化への多大なメリットがあると確信し、今こそ取り組むべきであると判断いたしました。

つきましては、別紙のとおり審議結果を貴会にご報告いたしますので、地域の課題としてご共有いただき、取組の一助となれば幸いに存じます。

津有区地域協議会事務局

中部まちづくりセンター（上越市 総合政策部 地域政策課）

担 当：小川、村山

所在地：上越市木田 1-1-3（上越市役所第二庁舎 2 階）

電 話：526-1690(直通) / FAX：520-5852

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

津有区地域協議会 自主的な審議結果

テーマ「地域での新しいコミュニケーションの在り方について」

令和8年度第5回津有区地域協議会
令和8年9月15日
3議題（1）自主的な審議
資料No.1-2

■ 協議結果

- 問 題

・地域でのコミュニケーションに距離感がある。

・地域活動への関心が低い。

・公民館に地域の情報が集まるものの、広く共有されていない。
- 課 題

・地域の情報が個人まで届きにくい。

・回覧程度しか情報発信・収集手段がない。

・公民館に集まる地域の情報を共有できる仕組みがない。

検討のポイント

・津有南部・北部、他地域との協力関係をより深める

・公民館を中心とした情報収集・発信を活用

・必要な時に地域の情報を確認できる

・10年から20年後を見据えて検討する

■ 具体的な解決策

① SNSのコミュニケーションツール（LINEなど）の利用	
具体的な取組	○津有区公式LINEの開設・運用 …回覧板や全戸配布した資料をLINEにも掲載し、登録者やその家族がいつでも確認できるようにする。 ※当面は紙媒体とLINEを併用し、利用状況や住民ニーズを踏まえながら運用方法を検討する。
公式LINEでの発信を希望する内容	【是非配信を希望する内容】 ◎津有地区地域づくり協議会からの情報 ◎地域支え合い事業（すこやかサロン）からの情報 ◎公民館からの情報 【できれば配信を希望する内容】 ・上越市防災士会津有支部からの情報 ・小学校からの情報 ・津有北部地区スポーツクラブからの情報
公式LINEでの発信を希望しない内容	・政治・宗教に関する内容 ・交通安全や防災・防犯など、関係機関が公式に発信している情報 →代わりにそれぞれの媒体を紹介する。
今後の検討を期待する事項	・保育園や小学校、津有北部地区スポーツクラブなど地域で対象者が分かれる情報は、タグ付け機能等を活用し、必要な人に配信する。 ・地域の行事を一覧で確認でき、地域住民や各種団体が情報を入力できる共有カレンダーを整備し、運用が難しい場合は行事予定をまとめたスケジュールを毎月PDF等で配信する。 ・有料広告（地域のお店の紹介など）を導入し、将来的には自主財源のみでの運用を目指す。 ・発信メッセージの内容ごとに目印となる絵文字を設定し、どの団体からの情報か一目で分かるようにする。

② 地域共通のお知らせ目印（柄、色など）の作成	
具体的な取組	○専用ロゴ・マークおよび統一デザイン（色・柄）の作成・活用 …各種団体の発行物においてお知らせ目印を活用し、地域の統一感を出す。
デザインの例	・子供（中学生など）や津有区内の住民から公募したデザインとする。 ・工夫を加えた線でチラシ等を縁取る。 ・地域のお知らせやデザインなど、長年定着しているものは変更を要しないものとする。 ・カラー印刷費を要しないよう、黒単色とする。 ・紙面の内容やレイアウトの妨げとならないものとする。 ・団体ごとのお知らせ目印の色を変更する。 ・文書の重要度による色分けは行わない。
デザインを活用してほしい団体	・津有地区地域づくり協議会 ・地域活動団体（津有地区地域づくり協議会の構成団体） ・津有地区公民館 ・津有区地域協議会

③「家庭内回覧」スタンプの押印	
具体的な取組	○全戸配布チラシへの「家庭内回覧」スタンプの押印

④ ごみ集積所を掲示板として活用	
具体的な取組	○町内会が設置しているごみ集積所への掲示板設置 …住民の目に留まりやすい場所で情報発信を行う。 防災情報や一定期間掲示・保管してもらいたい配布物については、ラミネート加工を施して配布する。